

令和元年度 消防団事務局の「実行宣言」

作成者 (評価者)	局長	武田 一晃
--------------	----	-------

基本方針と使命
<p>松阪市消防団は、地域の防災体制における中核的存在として、災害の防ぎよ活動等、地域の防災力に非常に大きな役割を果たしています。さらなる消防団活動の充実強化を図り、市民の「安全・安心」の確保のため、</p> <ul style="list-style-type: none">①消防団員の確保②消防団車両及び機械器具等装備の整備③消防団施設及び耐震性貯水槽の整備④各種災害に対する知識と技能の習得 <p>に取り組み、消防団の災害対応能力の向上に努めていきます。</p>

『松阪市総合計画』 との関わり	5 安全・安心な生活（防犯・防災）
--------------------	-------------------

平成30年度の評価			
評価基準…S（100%以上）、A（90~99%）、B（70~89%）、C（50~69%）、D（30~49%）、E（29%以下）			
宣言①	消防団の災害対応能力の向上を図ります。	評価	B
【評価理由】 「松阪市消防団の災害活動要領」及び「松阪市消防団安全ガイドライン」を作成配布して災害対応能力の向上が図れたと考えますが、消防団員の充足率については市ホームページ等を活用し消防団の取り組みを発信する等、団員確保に努めましたが、2年連続充足率が下がり、消防団員健康診断受診率についても86%にとどまりました。			
【対応方針】 消防団幹部会議等の席において取り組み評価について意見交換を行い、引き続き、団員確保に努めるとともに各方面団の適正配置に伴う分団再編も検討します。			
部局マネジメント方針			
毎朝ミーティングを実施し、情報共有を図り業務の効率化をめざします。		評価	A
市ホームページ等を活用し、消防団の取組を積極的に発信します。		評価	A
局内の災害対応能力の向上をめざし、訓練等を実施します。		評価	A
市民ニーズに応えられるよう丁寧な対応をめざします。		評価	A

【部局長シート】

『松阪市総合計画』関係施策の進捗度										
施策番号		施策名								
5 - ⑤		消防団の充実								
関係 施策 1	指標	耐震性貯水槽の設置数								
	①	評価指標	平成30年度						令和元年度	
		目標/実績	目標	153基	実績	153基	評価	S	目標	157基
	対応方針	実施計画の目標達成に向け、引き続き設置に努めます。								
	指標	消防団協力事業所の認定数								
	②	評価指標	平成30年度						令和元年度	
目標/実績		目標	29事業所	実績	29事業所	評価	S	目標	31事業所	
対応方針	実施計画の目標達成に向け、引き続き認定確保に努めます。									



令和元年度 「実行宣言」	
宣言①	分団再編を視野に入れ各方面団の適正配置を図ります。
部局マネジメント方針	
毎朝ミーティングを実施し、情報共有を図り業務の効率化をめざします。	
市ホームページ等を活用し、消防団の取組を積極的に発信します。	
局内の災害対応能力の向上をめざし、訓練等を実施します。	
市民ニーズに応えられるよう丁寧な対応をめざします。	

【課長シート】

組織名	消防団事務局	作成者（評価者）	局長 武田 一晃
関係する 「実行宣言」	平成30年度	消防団の災害対応能力の向上を図ります。	
	令和元年度	分団再編を視野に入れ各方面団の適正配置を図ります。	
関係する『総合計画』施策	5-⑤ 消防団の充実		
課の基本方針と使命			
<p>消防団事務局は、消防団運営を円滑に進める部局として消防団が活動しやすい環境づくりに努め、消防団活動のより一層の充実を図ることで魅力ある消防団づくりにつなげます。</p> <p>消防団の活動の様子を積極的にメディア等を活用して情報発信を行い、また、「消防団応援の店」や「消防団協力事業所表示制度」も活用して、引き続き団員確保に取り組みます。</p> <p>消防団の災害対応能力向上を図るため、「災害対応マニュアル等」を活用した訓練を計画的に行い、知識技能の習得に努め、広域消防・自主防災組織等と連携を密にし、地域防災力の要として充実強化させます。</p>			

平成30年度の総括（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。）
<p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 振興局の消防団担当者と業務調整した事案を、局内毎朝ミーティングの中で、情報共有を行い業務の効率化を図り、消防団会議時間の縮小に努めました。 ・ 大規模地震発生時の消火・生活用水用の確保に耐震性貯水槽（40 t）4基を設置し、総設置数は153基となりました。 ・ 車両更新については、消防団小型動力ポンプ付積載車3台を更新させ災害現場での消防力の強化につなげました。 ・ 幹部消防団員を対象に研修会を実施して、消防団の災害対応能力の向上を図りました。 ・ 消防団員貸与物品の貸与率については、平成28年度から順次、実施計画どおり進め、平成30年度は実施計画目標数値49%を上回り52%(定数1,420人のうち738人新活動服貸与済)となりました。 ・ 「消防団分団再編」については、飯高方面団加波班(団員不足及び施設装備老朽化)、桑原班(施設老朽化)に伴い加波班、桑原班を乙栗子班に再編して5班を3班(乙栗子班、波瀬班、美滝班)に再編しました。
<p>【達成できなかったこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市ホームページ(年4回更新発信)を活用し消防団の取り組みを発信して団員確保につなげ、充足率は97%(定数1,420名に対し、実員1,376名)となりましたが、平成29年度団員実員(99%)と比較すると減少傾向にあります。 ・ 消防団員の約1割の自営業者130名を対象とした消防団員健康診断受診率の割合が、112名(86%)にとどまりました。 ・ 老朽化した消防団車庫2棟の建替えを予定しておりましたが、工事資機材ハイテンションボルト入荷不可に伴い、計画通り実施できませんでした。(次年度以降に計画)

【消防団事務局】事務・事業管理シート（予算事業）

No.	事業名	会計	関係施策	平成30年度				令和元年度							
				予算額（千円）	決算額（千円）	活動指標			方針	予算額（千円）	決算額（千円）	活動指標			方針
1	松阪地区広域消防組合分担金	一般	5-⑤	2,070,525	/	救急出動における平均現場到着時間			→ 現状維持	2,658,865	/	救急出動における平均現場到着時間			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						8分以内	8分11秒	A				8分以内			
2	消防団員消防・水防手当	一般	5-⑤	56,433	/	消防団員訓練等出動に伴う参加率			→ 現状維持	53,306	/	消防団員訓練等出動に伴う参加率			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						100%	93%	A				100%			
3	消防団員報酬	一般	5-⑤	44,899	/	消防団員の条約定数充足率			→ 現状維持	44,872	/	消防団員の条約定数充足率			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						100%	97%	A				100%			
4	消防団員退職報償金等	一般	5-⑤	30,335	/	消防団員退職報償金該当者の支払い			→ 現状維持	31,544	/	消防団員退職報償金該当者の支払い			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						100%	100%	S				100%			
5	消防団員等公務災害補償等共済基金掛金	一般	5-⑤	30,536	/	共済基金掛金率			→ 現状維持	30,536	/	共済基金掛金率			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						100%	100%	S				100%			
6	消防団員等福祉共済加入掛金	一般	5-⑤	4,260	/	福祉共済加入率			→ 現状維持	4,260	/	福祉共済加入率			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						100%	100%	S				100%			
7	小型動力ポンプ付積載車等購入事業費	一般	5-⑤	22,800	/	火災等の災害対応率			→ 現状維持	23,200	/	火災等の災害対応率			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						100%	3台	A				100%			
8	消防団防災資機材等整備事業費	一般	5-⑤	7,273	/	消防団員貸与物品の貸与率			→ 現状維持	7,273	/	消防団員貸与物品の貸与率			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						100%	52%	C				100%			
9	消防団員公務災害補償費	一般	5-⑤	1,815	/	公務災害補償費加入率			→ 現状維持	1,797	/	公務災害補償費加入率			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						100%	100%	S				100%			

【消防団事務局】事務・事業管理シート（予算事業）

No.	事業名	会計	関係施策	平成30年度				令和元年度							
				予算額（千円）	決算額（千円）	活動指標			方針	予算額（千円）	決算額（千円）	活動指標			方針
10	消防団員健康診断事業費	一般	5-⑤	421	/	自営業の消防団員定期健康診断受診率			→ 現状維持	437	/	自営業の消防団員定期健康診断受診率			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						100%	86%	B				100%			
11	非常備消防一般経費	一般	5-⑤	17,609	/	研修会等の参加率			→ 現状維持	22,405	/	研修会等の参加率			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						100%	90%	A				100%			
12	水道事業会計繰出金	一般	5-⑤	14,933	/	新規公設消火栓設置・維持管理率			→ 現状維持	13,282	/	新規公設消火栓設置・維持管理率			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						100%	100%	S				100%			
13	消防施設管理事業費	一般	5-⑤	6,137	/	消火栓点検維持管理率			→ 現状維持	5,937	/	消火栓点検維持管理率			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						100%	100%	S				100%			
14	消防防災施設整備事業費	一般	5-⑤	52,000	/	耐震性水槽設置数			→ 現状維持	47,000	/	耐震性水槽設置数			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						157基	153基	A				157基			
15	消防・防災訓練センター管理運営事業費	一般	5-⑤	249	/	訓練センター施設使用満足度			→ 現状維持	249	/	訓練センター施設使用満足度			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						100%	93%	A				100%			
16	消防施設解体事業費	一般	5-⑤	/	/	団車庫維持管理率			/	2,863	/	団車庫維持管理率			— 終了
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
												100%			
17	消防救急デジタル無線（共通波）整備事業負担金	一般	5-⑤	21,709	/	無線共通波整備にかかる通信エリアカバー率			→ 現状維持	21,709	/	無線共通波整備にかかる通信エリアカバー率			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						100%	95%	A				100%			

【消防団事務局】事務・事業管理シート（ゼロ予算事業）

No.	事業名	会計	関係施策	平成30年度				令和元年度							
				予算額（千円）	決算額（千円）	活動指標		方針	予算額（千円）	決算額（千円）	活動指標		方針		
(1)	「消防団協力事業所表示制度」の推進取組		5-⑤			消防団協力事業所の認定数			→ 現状維持			消防団協力事業所の認定数			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						29事業所	29事業所	S				31事業所			
(2)	「消防団入団促進活動」の推進		5-⑤			消防団員数			→ 現状維持			消防団員数			→ 現状維持
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						1,420名	1,376名	A				1420名			
(3)	「消防団分団再編」のあり方検討		5-⑤			消防団分団再編数			… 定期			消防団分団再編数			… 定期
						目標	実績	評価				目標	実績	評価	
						1分団	再編済	S				1分団			